

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	地域共生課長 矢作 拓	
共生-18	エシカル消費推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	地域共生課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	6-(4) 消費者対策	施策の方針	6-(4)-①安心な消費生活の実現

1 事業の目的

対象	市民等
意図	消費している商品やサービスの生産背景を知ることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動の理解促進に向け、エシカル消費の普及啓発を図るため。
効果	エシカル消費の理解を深めることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動ができる。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉市エシカル消費推進アドバイザーから、エシカル消費に係る取組等について助言を受けた。 ・フェアトレードタウン認定に向け、関係者の機運の醸成を図るため、フェアトレードタウン推進組織設立に向けたパネルディスカッション及びワークショップを開催した。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	エシカル消費啓発事業	講演会	開催数(回)	1 / 1	1	1	100%
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	89 / 115	535		
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	89 / 115	1,135		
			事業費の合計(千円)	178 / 230	1,670		
		人件費(千円)		8,356	9,222		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.5	0.9	1.1	1.1		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.5		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	エシカル消費啓発事業	フェアトレードタウン推進組織設立に向けたパネルディスカッション及びワークショップを開催した。	フェアトレードタウン認定に向け、関係者の機運を高めるとともに、エシカル消費の理解を深めることができた。	令和5年度に設立される推進組織を支援し、フェアトレードタウン認定に向けた取組を推進していく。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-1 今後、市民等との協働による事業を検討すべき事業がある
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

<p>【今後の方針】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善・変更 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>子どもの家でのワークショップや、エシカルな商品を扱う店舗を紹介するWebマップの作成により、エシカル消費の普及啓発に寄与した。また、フェアトレードタウン推進組織設立に向けたパネルディスカッション及びワークショップの開催により、フェアトレードタウン認定に向け、関係者の機運を高めることができた。</p> <p>引き続き、エシカル消費の普及啓発を図るとともに、フェアトレードタウン認定に向けてフェアトレードタウン推進組織の支援を行う。</p>
--

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	サステナブルラベルの認知度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
市民への啓発効果を把握するため。	目標値	33.4	36.7	40.0	43.3	46.6	50.0	
	実績値	-	41.1	47.8				
	達成率	-	112.0%	119.5%				

指標(単位)	持続可能な消費行動を意識している市民の割合						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
市民への啓発効果を把握するため。	目標値	64.6	66.7	68.8	70.9	73.0	75.0	
	実績値	-	71.3	72.8				
	達成率	-	106.9%	105.8%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	事業対象となるエシカル消費は、行政分野において比較的新しい視点であり、自治体ごとに取組みの有無にばらつきがあるなど、理解度も大きく異なっている状況であることから、数値を用いた単純比較をすることは難しいと考える。
--------------------------	---